



紅露五郎先生

(高師 康)

徳島出身、サッカーの経験はなかったが、非常に熱心にグラウンドに出て、部員の個人的な世話までよくされた3代目の部長、グラウンドの使用のことでわがままだった野球部長と大激論の末、蹴球、野球、陸上が週の内2日ずつ使用することを決めさせた。久喜高女に転じ、のち、昭和13年から26年まで桐生高工(群大工学部)の教官。